

令和2年度

教育に関する事務の管理及び執行状況の
点検及び評価報告書

中能登町教育委員会

はじめに

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、教育活動のみならず、社会活動全体が大きな影響を受けました。各種事業においては、中止や規模縮小、形態を変更しての実施等とならざるを得ない1年でありました。

この報告書は「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、中能登町教育委員会が令和2年度に実施した事務事業の取り組みについて自らその状況について点検し評価を行い、金沢大学 松原 道男 教授からご意見をいただき、まとめたものです。

令和3年9月

中能登町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

－目 次－

I 事務の点検評価

1 学校教育

(1) 確かな学力を育む教育の推進	1
(2) ふるさと学習の推進	5
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	6
(4) スポーツの振興	8
(5) 安全安心な学校づくり	9
(6) 特別支援教育の充実	10
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	11
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	12
(9) 中能登らしい学校教育の推進	14

2 学校施設・設備の整備充実

(1) 学校整備事業	16
------------	----

3 学校給食

(1) 学校給食	18
----------	----

4 文化財

(1) 文化財保護事業	19
(2) 文化財管理運営事業	20

5 生涯学習の振興

(1) 社会教育施設の充実	22
(2) 生涯学習講座の実践	23
(3) 公民館活動の充実	24
(4) 青少年の健全育成	28
(5) 国際交流事業の推進	29
(6) 図書館の充実	31

6 生涯スポーツの振興

(1) ジュニアスポーツクラブの充実	34
--------------------	----

(2) スポーツの振興	35
(3) スポーツ施設の整備・充実	36
(4) 指導者の養成と選手の育成	37
※注釈	38
Ⅱ 教育委員の主な活動	39
Ⅲ 令和2年度決算（教育委員会）の概要	41

1. 教育のビジョン

中能登町では、平成28年7月に「中能登町教育大綱」を策定しました。

令和2年12月に改訂の「教育大綱」は、第2次中能登町総合計画にある「ふるさとふれあい 心を育む 中能登町」の基本理念とまちづくりを進める5つの将来像、国県等の教育行政の動向、社会情勢等の変化などを勘案した上で、本町の教育の指針として定めるものです。

○中能登町学校教育振興ビジョン

1. 基本理念

ふるさとに愛着と誇りをもち、将来を夢みて未来を切り拓く中能登っ子を育てる

2. 基本方針

- 1) 確かな学力と社会性を身につけ、大好きな自分づくりに励む中能登っ子の育成
- 2) 生命を尊重し、正義感と思いやりの心を持つ人間性豊かな中能登っ子の育成
- 3) 心身ともに健康で、自分らしさを発揮し、たくましい行動の出来る中能登っ子の育成

○中能登町社会教育振興ビジョン

1. 基本理念

霊峰石動山と古墳つらなる眉丈山の麓まほろばの地に抱かれ、ふるさと愛を持ち、健康で心豊かな文化の香り高い町を目指す

2. 基本方針

少子高齢化が進行する中、家庭・学校・地域との連携を強化し、町の歴史や文化を継承しつつ、生涯学習・生涯スポーツなど、心豊かに生涯にわたり学び合える環境づくり、また、人間性豊かな、活力ある社会基盤づくりを推進する。

I 事務の点検評価

1 学校教育

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>○保育士と小学校教員との確かな連携を図るため、保小連絡協議会の設置</p> <p>① 保小連携推進委員会 第1回 4月(中止) 第2回 8月(中止) 第3回 3月5日 ラピア鹿島 第2会議室 取り組み紹介、連携の方向性の明確化</p> <p>② 保小連絡会 ・第1回 6月 子ども園及び保育園の保育士等による小学校の授業参観と情報交換 ・第2回 8月 小学校教員によるこども園及び保育園等訪問と情報交換 ・第3回 2月 小学校学級編成と最終情報交換</p> <p>③ 行事参加 ・2月 年長児ようこそ集会(新1年生を迎える会) 新1年生を小学校へ招き、授業体験と現1年生による歓迎会を実施</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが、保小連絡協議会(全体会)を年度末に開催でき、今年度の取り組みや今後に向けての協議を行うことができた。 ・保小連絡会を複数回開催することで、幼児及び児童の情報交換ができ、理解につながった。 <p>第1回(1学期)の保小連絡会では児童への接し方等について、保育士からの助言をもらい、1年担任が児童の指導にいかすことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで新入児向けの授業体験と歓迎会を2回に分けて行ってきたが、コロナ禍を勘案し、行事内容を工夫し、同時に行うことで実施することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保小連携から中学校への連携へと方向性を協議し、共通理解を図りながら取り組みを進め、義務教育期間のつながりを持った取り組みとしていきたい。
	<p>○学力向上を目指す校内研修と日常的な取組の充実</p> <p>学力向上ロードマップに基づき、科学的根拠に基づいた取組を実践し、授業研究と学習基盤の確立を推進。小・中学校ともに、年間を通して、校内研修を実施。</p> <p>① 各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登教育事務所からの要請訪問の全体研修(年7回程) ・各教員が年1回は研究授業を開催し、授業力向上をめざす ・学習規律を定め、各学級で毎月の取組確認 ・「話し方名人・聴き方名人」の提示と実施 ・ノート指導とモデル提示 ・帯タイム(基本・活用問題、条件作文等)の実施と推進 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業研究を重ねることで、授業が改善され、児童の学ぶ意欲や学力の向上につながることができた。 ・全校で共通実践し、落ち着いた学習環境を整えることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態を踏まえ、共通実践をさらにきめ細かく丁寧に行いながら、新しい学校研究の柱を築けるよう授業研究を推進していく。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>② 中能登中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「シュクマネ」の実施（宿題マネージメントの略）週課題を曜日に捉われず、生徒自らが課題の量や内容をマネージメントし、計画を立て実行していく力を育む。 ・若手教員早期育成プログラム 日常的OJT※1の充実のため、環境整備や時間の確保に取り組む。 定期的研修の充実のために、月1回30分程度でテーマ別研修や学習指導研修を実施。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「シュクマネ」の取り組みにより、今年度は生徒が主体的に学ぶことができた。 ・到達度調査及び県評価問題等において、確実に成果を上げてきている。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取組の検証を踏まえ、修正しながら子どもの視点に立った取組になるよう全職員で共通理解を図っていききたい。
	<p>○小学校における外国語活動、外国語科の充実及び中学校における姉妹提携校との相互交流による外国語（英語）教育の拡充</p> <p>① ALT※2（外国語指導助手）の各小中学校への配置（計4名）</p> <p>② 各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校高学年の外国語科の導入 ・ALTと担任のチームによる外国語活動及び外国語科の授業 全学級の外国語の授業にALTが配置され、生きた英語を学ぶ環境が整っている。 ・GTEC junior※3の受検 令和2年度初めての取り組みであり、英語学習による英語力を試す良い機会であった。 ・英語専門の教員の配置及び英語検定の試み（鹿島小） ・ALTを講師とした教員の校内指導を実施することにより指導力向上を図った。 <p>③ 中能登中学校 姉妹提携校（台湾成功国民中学校）との交流（中止）</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校にALTが常駐しているため、授業だけでなく、学校生活の中で自然に英語に触れる機会が増えて学ぶ意欲につながった。 ・英語専門の教員を中心とした英語教育の充実が図られた。また、初めての英語検定の試みで、児童の意欲を高められた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALTの活用を充実させた授業展開を工夫する。 ・小中連携した、つながりのある英語教育の実施が必要である。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価																				
(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>○タブレット端末（ICT機器）を活用した授業の充実</p> <p>① GIGAスクール構想の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の校内通信ネットワークを強化 ・一人一台端末を整備 <p>タブレットを全児童生徒に配布</p> <p>鳥屋小学校： 278 台 鹿島小学校： 380 台 鹿西小学校： 192 台 中能登中学校： 475 台 合計：1,325 台</p> <p>② 電子黒板の整備</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>～R1</th> <th>R2</th> <th>今後予定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥屋小学校</td> <td>13 台</td> <td>7 台</td> <td>4 台</td> </tr> <tr> <td>鹿島小学校</td> <td>3 台</td> <td>6 台</td> <td>6 台</td> </tr> <tr> <td>鹿西小学校</td> <td>4 台</td> <td>0 台</td> <td>7 台</td> </tr> <tr> <td>中能登中学校</td> <td>5 台</td> <td>9 台</td> <td>7 台</td> </tr> </tbody> </table> <p>③ ICT※4 サポーター 2 名（毎月 2 回各校訪問） 教職員による、パソコン、タブレットの活用が図られるよう支援</p> <p>④ タブレット機器を授業で活用開始</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット導入にあたり、3 日間の説明会を設け全教職員が参加。 ・教育委員会視察研修において先行実施している、錦城小学校（加賀市）へ教職員が同行し研修。 ・デジタル教科書を活用した授業を実施。 授業だけではなく隙間時間でも機器を活用し、少しずつ慣れてきている。 ・中学校では、一人一台のタブレットを有効に活用するため、まずは慣れることを目標にワード入力やネットでの検索を実施している。 		～R1	R2	今後予定	鳥屋小学校	13 台	7 台	4 台	鹿島小学校	3 台	6 台	6 台	鹿西小学校	4 台	0 台	7 台	中能登中学校	5 台	9 台	7 台	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末の国庫補助を活用し、タブレットを全ての小中学校に導入することができた。また、電子黒板の導入も計画的に進んでいる。さらには、ICTの活用が進むようサポーターの訪問支援もあり、児童生徒及び教職員にとって、よりよい学習環境を整備できた。 ・タブレット利用により、児童生徒は意欲的に学習に臨み、関心や意欲が高まっている。デジタル教科書は視覚的に理解しやすく、学習効果が大きい。 ・タブレットを実際活用している学校現場への視察研修は、タブレットの実際の使い方、情報モラルについての意見交換など実践に結び付くものであった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板の導入予定台数の整備については、令和 4 年度までに完了を予定している。 ・GIGA スクールサポーター等その他補助事業も視野に ICT による学習環境を計画的に整備していく。 ・授業でのタブレットの使い方を試行錯誤しながら情報交換し、幅広く活用できるよう工夫し充実させる。また、情報モラルを身に付けさせることも大切であり、指導の充実を図る。
	～R1	R2	今後予定																			
鳥屋小学校	13 台	7 台	4 台																			
鹿島小学校	3 台	6 台	6 台																			
鹿西小学校	4 台	0 台	7 台																			
中能登中学校	5 台	9 台	7 台																			

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>○学力調査の実施と活用</p> <p>① 小学校における学力調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県基礎学力調査及び全国学力調査（4年・6年）は中止となったが、調査票の内容を活用して各校、校内実施。 採点分析して課題を確認後、後期学力向上プランを修正。 ・ 県評価問題の実施（12月） 採点分析して課題を確認後、3学期学力向上プランを作成 ・ 町の学力調査の実施（全学年） <p>② 中学校における学力調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度は、コロナ禍による臨時休業で、授業時数を確保することが最優先とされた。 学力調査に対する十分な対応策がとれず、真の意味での子どもたちの学力が結果として表れる良い機会となった。 ・ GTEC※5での4技能調査実施 令和2年度実施なし ・ 英語検定の実施（10月、1月） 受検料の半額を町が助成。 希望者が受検（受検者数：延べ 286名） 合格者数：延べ 245名 準2級 1名 3級 49名 4級 70名 5級 125名 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の臨時休業における、授業時間数や学力の確保が懸念されたが、学力調査及び評価問題の分析結果から学力向上プランを作成し、授業や帯タイムでの学習内容を工夫し改善につなげることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年5月の学力調査に向けて、学習への意欲を喚起する手立てを取り、学力向上をめざす必要がある。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 分析結果を有効に活用するため、校内研修を実施し、全教職員で共通理解を図り、日々の授業の中で改善策を実践することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 最も大切なことは分析結果の中身よりも、今後、どのように活かし実践していくかということである。そのためにも、教科部会の充実を図っていきたい。
	<p>○家庭と連携した学習習慣の確立</p> <p>①各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級・学年・学校通信の発行 家庭学習の習慣が身に付くように、保護者への協力を依頼する。 授業や学習における研究の取組状況を発信し、保護者の関心を高める。 ・ 保護者懇談会（1・2学期通知表渡し） 担任が直接、保護者と面談する。 <p>②中能登中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中能登中オリジナル自学「NAKANOTE」の実施 A4版で上段は授業で分かったことを書き、振り返り欄で、下段は従来の自学ノートである。 ・ 放課後スッキリタイム 定期テスト後に課題が達成されていない生徒を対象に実施。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭学習を重視しており、特に学級・学年通信による保護者への協力依頼により、家庭での学習習慣などの効果がみられた。 ・ 「NAKANOTE」の実施により計画的に週課題に取り組む生徒が徐々に増えてきた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種通信の内容を充実させる。 ・ 必要に応じて、担任からの電話連絡で保護者の協力を依頼する。 ・ ネットや動画視聴、ゲーム時間の改善を図るための取り組みが必要である。 ・ 家庭との連携をより強化し、スッキリタイムの対象者を減らしていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
	<p>○コロナ禍における学習の確保</p> <p>国緊急事態宣言発出による、町立小中学校臨時休業期間の取り組み（4/9～5/31）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題（プリント・ドリルなど）の提供（郵送） ・担任教諭による近況の確認（電話） ・学校再開に向けて、感染症対策の準備を行い学習環境の確保（校内清掃、消毒液の配置、ソーシャルディスタンスの工夫、掲示物など） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な新型コロナウイルス感染症と不安が拡大する小中学校から児童生徒や保護者に連絡をするなど、学習面や精神的な支援を行うことにより、学習の継続ができた。 また、臨時休業期間中に、学校再開に向けて感染症対策を講じた準備を行い、学校再開後の学習環境の確保につながった。
<p>(2) ふるさと学習の推進</p>	<p>○「わたしたちの中能登町資料編」を活用した学習により、地域の豊かな自然や文化・歴史遺産等の良さを学び、郷土愛高揚の促進を図る</p> <p>各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたちの中能登町資料編」の活用（平成 27 年度作成） 小学 3・4 年生の社会科学習の社会科副読本として、十分活用している。 ・社会科及び総合の時間での見学・体験学習 雨の宮古墳、石動山・大宮坊、不動滝、天日陰比咩神社などを見学し、地域の歴史や文化について学習。 ・豊かな自然、稲作体験学習（5 年） 里山づくり I S O の保全活動の取組 6 月 苗の生育学習 9 月 稲刈り体験 10 月 脱穀体験 11～12 月 稲作新聞づくり ・「中能登町子どもふるさと検定」の実施 小学 4 年生受検 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科学習をすすめる上で資料を活用することにより、地域のことを知ることができた。より具体的な情報を得るときにはインターネット検索を行い、理解を深めた。 ・社会科の地域学習や 4 年生が「町ふるさと検定」に取り組むことにより、町の歴史や文化に触れるよい機会となった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいる町を知ることは、自分を知ることにもつながりるため、今後も郷土愛を高められるよう取り組んでいく。
	<p>○伝承文化の体験と鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国重要無形民俗文化財「鶴様道中」※6 についての学習（中止） ・運動会での中能登音頭（中止） ・切り絵クラブ（鳥屋小） ・生け花クラブ（鹿島小） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な行事が縮小されたため実施できなかったものが多くあった。 ・講師を招いてのクラブ活動を実施したことにより体験活動ができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域人材を活用していろいろな体験ができるよう、各学年で可能な限り地域についての学習を計画していく。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p>○児童会活動及び生徒会活動の重視</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校 児童集会、委員会活動 縦割り班 発足集会、ゲーム、あいさつ・声かけ運動、 なわとび練習 ・鹿島小学校 委員会活動 縦割り班 なかよくなるろう会、6年生を送る会 みんなでいこう“USK”(ゲームのブース) ・鹿西小学校 委員会活動 縦割り班 なかよし集会、なかよし掃除、 なかよしなわとび大会 ・中能登中学校 生徒会認証式、生徒総会、委員会活動 学校祭、生徒会役員選挙 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動では、コロナ禍であり活動内容を変更したものもあったが、児童は主体的に自分たちでできることを考え、行うことができた。また、縦割り班を行うことで、全学年が交流でき、高学年はリーダーとして自覚を持つことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒が主体的を持つことができるよう工夫し、取り組みを継続していく。
	<p>○心に響く学校行事や各種体験活動・ボランティア活動への積極的な取組</p> <p>① 心に響く体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校 特別展「戦時下の子どもたち」鑑賞(6年) 絵本(宮沢賢治)講座(6年) ・鹿島小学校 リコーダー講習会(3年) ・鹿西小学校 運動会での鼓笛隊、縦割り班対抗競技(全学年) ・中能登中学校 平和集会 学校祭 <p>② ボランティア活動への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生の総合的な学習の時間などにおいて、誰もが住みよい町となるよう、福祉活動に関する学習を行っている。 認知症キッズサポーター養成講座 高齢者疑似体験 介護について バリアフリー教室 ・手話講座(鳥屋小1・2年) ・避難生活体験(鳥屋小6年) ・防災教室(鹿島小4年) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で行事は縮小せざるを得なかったが、例年にはない新鮮な取組を行うことができた。 ・福祉活動の学習を通し、相手を思う気持ち、困ったときは助け合う気持ちの大切さを学ぶことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種体験活動が、児童生徒にとって効果的な学習となるよう取り組みを工夫していく。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の充実	<p>○道徳教育、人権教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥屋小学校 道徳授業参観（全学年一斉公開授業） ・鹿島小学校 「道徳アクティブトーク」 長期休み（夏休み・冬休み）に家族で1つのテーマについて話し合う取り組み。 ・鹿西小学校 弁護士による人権講話（4年） ・中能登中学校 人権教室（2年）（3年） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1つのテーマについて話し合う時間をもつことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭と連携した道徳教育を、継続していくことが大切である。
	<p>○いじめ、非行、不登校へのきめ細やかな指導及び携帯電話やスマートフォン等の使用への適切な対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピュアキッズスクール（各小学校） 2年 「人のものをとってはいけない」 5年 「ネットトラブル」 ・オンラインゲームについて考えよう（鳥屋小3年） ・非行被害防止教室（鹿島小 6年） ・スマホ・ケータイ講座（鹿西小 4年） <p>① いじめ問題への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度に中能登町いじめ問題対策連絡協議会 条例及び中能登町いじめ防止基本方針を制定 ・いじめアンケート調査の実施 ・QUアンケート※7の実施 ・いじめ対応アドバイザー派遣事業を積極的に活用し、小中学校に派遣。 <p>② ネットの諸問題への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネット被害防止 指導資料（CD）、資料「親子のホッとネット大作戦」等を活用した。 ・ノーテレビ・ノーゲームデー（毎月1回）の実施 <p>③ 不登校児童生徒への対策と取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校傾向の状況を日頃からの児童生徒の観察を通して把握し、早期に適切な対応が取れるようにした。 ・カウンセラー派遣事業や個別指導、別室指導を実施している。 <p>④ 薬物乱用防止教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校で、薬物・喫煙・アルコール飲酒が心身に及ぼす被害について、薬剤師や保健所職員を講師に迎え、科学的根拠に基づいた講義を実施。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例年通り非行被害防止講座を行うことができた。 ・いじめ事案について、いろいろな立場や場面からいじめを発見し、迅速な対応ができた。管理職を中心に学校全体で取り組む体制ができた。 ・ノーテレビ・ノーゲームデーに合わせ、うち読デーを加えた学校もあり、取り組みの工夫がみられた。 ・不登校児童生徒には別時間割を組み、無理のない範囲で学校生活を送ることができる配慮を行った。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒については、一人ひとりに応じた支援を継続し、解決が困難な場合はS S W※8を活用し対応していく。また、新たな不登校を増やさないためにもきめ細やかな対応に努めたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
	⑤ 非行（暴力）の防止と取組 ・積極的に関係機関と連携し、多様化する非行の現状を踏まえ犯罪被害の防止と健全育成対策を進める。	
(4) スポーツの振興	○町体育協会などスポーツ団体との連携による支援体制の強化 ・中学校 運動部活動指導の工夫改善支援事業を積極的に取り入れ、13部活動にコーチを配置している。 前年度に引き続き、弓道部やバドミントン部に部活動指導員を配置している。加えて、令和2年度より新たに男子ソフトテニス部にも部活動指導員を配置している。	【成果】 ・中学校の3運動部活動に部活動指導員を配置し、活用することができた。 【今後の方向性】 ・引き続きスポーツ団体等との連携を図り、部活動等の支援体制を整えたい。
	○スポーツ教室への加入促進や部活動の活性化の推進 各小学校において、地域の運動指導者による放課後スポーツ教室を実施し、基礎体力の向上に努めた。 実施日：9月～3月（月2回）	【成果】 ・各小学校より放課後スポーツ教室への参加募集等の協力を得て行うことができた。 ・年々、参加者が増えている。 ・コロナ禍であっても、運動ができる良い機会となり、体力維持に努めることができた。 【今後の方向性】 ・児童の基礎体力の向上を図るため、継続して行い、加入促進を図る。
	○活動費の助成や大会派遣への支援体制の強化 ① 小学生のスポーツ活動では、いしかわっ子駅伝交流大会の参加費等補助を実施した。 ② 中学校体育連盟が主催する大会（10割補助）、準ずる大会（10割補助）、派遣費補助を実施 ③石川県大会は参加費等及び交通費の補助を実施	【今後の方向性】 ・今後も継続して支援を行う。
	○体力の向上 体力テストの実施 ・小学校（4・5・6年） 握力、上体起こし、前屈、反復横とび、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げ ・中学校（1・2・3年） 握力、上体起こし、前屈、反復横とび、持久走、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ボール投げ	【今後の方向性】 ・各学校、学年ごとの結果から、劣っている項目については体力を補う内容を授業に取り入れたり、放課後スポーツ教室にも反映し、体力向上に努める。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 安全安心な学校づくり	<p>○交通安全意識の高揚と実践</p> <p>① 交通安全教室の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD等を活用し交通安全について学習 <p>②交通安全街頭指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全な歩き方指導 ・バスの乗り方指導 <p>③見守り隊などボランティア活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に街頭指導、児童の登下校の見守り、校区内の夜間巡視など、各小学校 PTA と連携をとり、年間を通して通学の恒常的な安全確保に努めた。 <p>④ヘルメット助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校入学時に新1年生申請者にヘルメット購入費の全額を補助（助成生徒数 151人） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全街頭指導を行い、通学路の安全な歩き方やバスの乗り方等を指導することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室の実施は、コロナ禍により縮小したが、今後も道路の安全について指導する必要がある。 ・引き続き、関係機関や、見守り隊などボランティアの方と連携しながら、安全安心に努めていきたい。
	<p>○防災訓練等の充実（地震、洪水、土砂災害、原発事故等）</p> <p>① 避難確保計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に各学校施設の災害区分に対応した避難確保計画を策定した。 鳥屋小学校（土砂災害に関する避難確保計画） 鹿島小学校（土砂災害に関する避難確保計画） 鹿西小学校（土砂災害に関する避難確保計画） 中能登中学校（水害に関する避難確保計画） <p>② 避難訓練の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校で年度初めに計画された防災計画に基づいて、年間2回から3回程度の避難訓練を実施。 ・Jアラート※⁹訓練やシェイクアウトいしかわ等、県・町防災訓練等にも積極的に参加した。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校において、地震、火災、原発事故、不審者対応などを想定した避難訓練を行うことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・策定された避難確保計画に基づき、想定される災害の避難訓練を計画的に実施し、検証と改善を行っていく。
	<p>○通学路の定期点検</p> <p>通学路の合同点検の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校では通学路の安全点検を行い、児童に対して通学体験などを指導。「中能登町通学路安全プログラム」（町ホームページを参照）に基づき公表した。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関と連携して通学路の点検を実施し、改善できる危険箇所の改善を図ることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も安全重視の視点で通学路の点検を行い、危険箇所を減らし、安全安心な通学路に努めていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価																	
(6) 特別支援教育の充実	<p>○家庭・保育園等・学校・教育委員会の定期的な懇談会の実施</p> <p>① 保育園、子ども園訪問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間2回～3回 町内保育園、子ども園を訪問(教育委員会) ・夏休み期間等、町内保育園、子ども園を訪問(小学校教諭) ※再掲：保小連絡会の取組 <p>②年中児巡回相談</p> <p>9月～10月 町内保育園、子ども園を訪問(教育委員会)</p> <p>③定期的な小学校への訪問(教育委員会)</p> <p>④未就学児及び在学児童生徒の相談などの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県教育相談 6月 3日 ・県就学相談 10月 9日 ・町就学相談 8月21日 10月27日 ・教育支援委員会 11月26日 ・各小中学校において専門相談の実施 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で保育園等への訪問の制限があり、縮小実施であったが、感染症対策を図り、時期を考慮して実施できた。 ・年中児巡回相談では、次年度への就学に向けてのつながりを持つことができた。 ・保育園訪問を通して、新小学校1年児童のスムーズな受入れができた。 ・学校においては、家庭や教育委員会と頻りに連絡を取り、きめ細かく懇談を重ね、対策を話し合うことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も機会をとらえて懇談を重ね、連携が図られるよう継続していきたい。 																	
	<p>○特別支援教育支援員の適正配置と研修の充実</p> <p>①各小中学校に特別支援教育支援員を配置</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">鳥屋小学校 4名</td> <td>鹿島小学校 7名</td> </tr> <tr> <td>鹿西小学校 6名</td> <td>中能登中学校 1名</td> </tr> </table> <p>②特別支援教育支援員研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 各校毎に開催 <li style="padding-left: 20px;">8月24日 鳥屋小学校、中能登中学校 <li style="padding-left: 20px;">9月9日 鹿島小学校、鹿西小学校 ・対象者 特別支援教育支援員 <p>③医療的ケア児の校内研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを必要とする児童のための看護師配置 ・看護師による児童向け、教職員向けの研修会実施 	鳥屋小学校 4名	鹿島小学校 7名	鹿西小学校 6名	中能登中学校 1名	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の状況に応じ支援員を配置し、研修を重ねながら個々に応じた支援が行われた。コロナ禍のため、指導主事を招いた研修会は、各校毎に実施し、日頃の対応の仕方等を学習した。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を要する児童生徒への対応について、今後も研修の充実を図り理解を深め、対応に生かしていく。 													
	鳥屋小学校 4名	鹿島小学校 7名																	
鹿西小学校 6名	中能登中学校 1名																		
<p>○特別支援学級の整備充実</p> <p>① 特別支援学級</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-right: 40px;"></td> <td style="padding-right: 20px;">小学校</td> <td>中学校</td> </tr> <tr> <td>(知的)</td> <td>3学級</td> <td>1学級</td> </tr> <tr> <td>(自閉・情緒)</td> <td>3学級</td> <td>1学級</td> </tr> <tr> <td>(難聴)</td> <td>1学級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(肢体不自由)</td> <td>2学級</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(病弱)</td> <td></td> <td>1学級</td> </tr> </table> <p>② 通級指導教室</p> <p>小学校 3学級、 中学校 1学級</p>		小学校	中学校	(知的)	3学級	1学級	(自閉・情緒)	3学級	1学級	(難聴)	1学級		(肢体不自由)	2学級		(病弱)		1学級	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援を要する児童生徒に応じて、必要な学級を整備確保していく。
	小学校	中学校																	
(知的)	3学級	1学級																	
(自閉・情緒)	3学級	1学級																	
(難聴)	1学級																		
(肢体不自由)	2学級																		
(病弱)		1学級																	

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価															
(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組	<p>○教育委員会の学校訪問</p> <p>1. 実施日</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">計画訪問</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">A</td> <td style="width: 40%; text-align: center;">C</td> </tr> <tr> <td>・鹿西小</td> <td>10月20日</td> <td>1月25日</td> </tr> <tr> <td>・鳥屋小</td> <td>10月26日</td> <td>1月28日</td> </tr> <tr> <td>・鹿島小</td> <td>10月1日</td> <td>1月22日</td> </tr> <tr> <td>・中能登中</td> <td>11月24日</td> <td>2月4日</td> </tr> </table> <p>2. 内容</p> <p>(1) 学校経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長の経営ビジョンに基づいた組織的運営 ・人材育成（若手育成体制） <p>(2) 研究授業及び研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを明確にした授業研究 ・指導法の工夫・改善に向けた指導 <p>(3) 担当者打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究主任 ・道徳教育推進教師 ・特別支援教育コーディネーター ・生徒指導主事 	計画訪問	A	C	・鹿西小	10月20日	1月25日	・鳥屋小	10月26日	1月28日	・鹿島小	10月1日	1月22日	・中能登中	11月24日	2月4日	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問により目標の共有や取組の進捗状況、児童生徒の変容を把握することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も年間を通じた計画訪問を実施し、各校の課題や必要性に応じた研修の計画・実施を積極的に行うことを働き掛けていく。 ・各校の若手育成の時間的、内容的な工夫について情報収集をし、各校が人材育成できるようにしていく。
	計画訪問	A	C														
	・鹿西小	10月20日	1月25日														
・鳥屋小	10月26日	1月28日															
・鹿島小	10月1日	1月22日															
・中能登中	11月24日	2月4日															
<p>○教育関連施設の現状視察や町PTA連合会との懇談会の開催</p> <p>① 視察研修</p> <p>(1) 加賀市錦城小学校（加賀市教育委員会）視察</p> <p>内容：タブレット端末を活用した授業の取組について</p> <p>実施日：令和2年11月12日</p> <p>教育長、教育委員（1名）、小学校教職員（4名）事務局（6名）</p> <p>(2) かほく市教育委員会視察</p> <p>内容：コミュニティ・スクールの取組について</p> <p>実施日：令和2年11月19日</p> <p>教育長、教育委員（4名）、事務局（6名）</p> <p>② 町PTA連合会との懇談会の開催</p> <p>内容：町や教育委員会への要望について</p> <p>実施日：令和2年8月21日</p> <p>参加者：町PTA連合会、町長、教育長、教育委員</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視察研修では、コミュニティ・スクールの取り組みや小学校におけるタブレット端末の活用など、変化する教育現場の対応や方向性を知ることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も視察研修や懇談会を継続しながら、町の教育環境を整えていきたい。 																
<p>○教育委員会に指導主事を配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29年度より、教育委員会に指導主事を配置 	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校への指導を継続していきたい。 																

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(7) 教育委員会と学校及び関連機関との連携した取組</p>	<p>○教育委員の研修参加</p> <p>① 教育委員会連合会研修参加</p> <p>(1) 定期総会・講演会 実施日 令和2年5月12日(中止)</p> <p>(2) 教育委員会セミナー 実施日 令和2年10月1日 場 所 KKR ホテル金沢 演 題 「里山景観の保全・再生」 講 師 春蘭の里 代表理事 多田喜一郎 氏</p> <p>(3) 研究大会(開催地) 実施日 令和2年10月23日 場 所 中能登町(ラピア鹿島) テーマ「未来を思考する教育委員会のあり方」</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> セミナーや研究大会を通して教養を高めることができた。また、研究大会の開催地として運営に携わり、良い刺激を受けた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も教育委員会連合会の研修、セミナーに参加し見識を広めていきたい。
	<p>○社会教育委員との連携</p> <p>今年度は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い事業の縮小等で実施できなかった。</p>	<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後はコミュニティ・スクールの取組に社会教育の視点を取り入れて展開して行くためにも連携を図っていきたい。
<p>(8) 学校と家庭と地域の連携強化</p>	<p>○中能登プロジェクトの発展</p> <p>① コミュニティ・スクールの推進</p> <p>保護者、地域住民との交流を進め、友だち、先生、家庭、地域の人たちとのふれあいを大切に、思いやりを兼ね備えた子どもを育てる。</p> <p>第1期 令和2年度 進めていくための協議 教育委員会の先進地視察研修(かほく市)</p> <p>第2期 令和3年度～令和7年度 小中学校にコミュニティ・スクールを設置</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度は、先進地の視察研修に行き、取り組みの実際を知ることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ・スクール設置に向けた協議を開始する。
	<p>○学校行事・町行事への参加の呼びかけ</p> <p>① ケーブルテレビ(なかのとチャンネル)放送</p> <ul style="list-style-type: none"> 「こども通信」にて各小中学校の取組等を紹介 「なかのとスペシャル」 <p>② その他広報</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校だより掲載 学校ホームページ掲載 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であり、地域の人に学校行事への参加を呼び掛けることはできなかった。 しかし、行事参加の呼びかけが難しかった分、ケーブルテレビやホームページ、広報などを活用し取組を紹介することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染状況から判断し、呼びかけを再開していきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	<p>○食育の推進</p> <p>① 教科等における食に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小学校への給食センター来訪の取り組み（中止） ・栄養教諭による生活科の授業（鹿西小） <p>② 学校給食における食に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食委員等における食育放送 ・地場産物の活用 給食を通して郷土を愛する心を育むために地場産物を献立に活用し理解を深めた。 ・給食での残量調査を通じて、食品ロスの改善を図った。 <p>③ 家庭・地域との連携に関する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月発行の「給食だより」による食育の推進 家庭で食の話題となるような取組や朝食の重要性を掲載するなど、家庭への啓発を図ることにより、朝食欠食率の改善にも取り組んだ。 ・毎月発行の町広報「食育通信」による食育発信 保健センターと栄養教諭が協働して発信 ・中能登町内商業施設へ学校給食の献立を掲示配布。 手軽につくることができる朝食のレシピ、野菜をたくさん摂取できる献立、薄味でもおいしく仕上がる献立など地域への啓発を図った。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に基づいて食育を行うことができた。特に地域の食材に関する指導を行うことができた。 ・中学生の朝食欠食率は12%前後でありあまり改善は見られなかったが、給食の残量は、1・2年生で大幅な改善が見られた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣の改善を重点におき、食習慣の改善方法を探り、食育の推進に努めていきたい。
	<p>○あいさつ運動や街頭指導の組織化と実践</p> <p>①各小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関前のあいさつ運動（全校児童） ・地区当番制あいさつ運動（地域の人、保護者） ・街頭挨拶運動、交通安全指導（9月） （教職員及びPTA保護者） ・「グッドマナーキャンペーン」街頭指導（11月） （教職員及びPTA保護者） <p>② 中能登中学校</p> <p>毎月第2・4月曜日の朝7：30から20分間、PTA役員を中心に街頭指導を実施している。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTAや地域の見守り隊と連携した街頭指導を定期的に行うことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊を再度募集し、学校と家庭、地域が連携して児童を見守る体制を継続する。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車で送迎する保護者のマナーが改善されてきたほか、子どもたちの挨拶も良くなってきた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度もPTA街頭指導の取組を継続するとともに、街頭に立つ人数を増やしていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(8) 学校と家庭と地域の連携強化	○社会教育団体との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> 各小中学校 毎月「朝の読み聞かせ」地域ボランティア（縮小） 各小学校 男女共同参画推進委員による学習（中止） 	【今後の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍であり、各種団体の活動と連動させることが難しく縮小実施や中止となった。感染状況を見ながら判断し、継続したい。
	○教育力の向上を目指す学校・家庭・地域のあり方 <ul style="list-style-type: none"> 各小中学校 租税教室の開催 中能登中学校 学校での強化取組である「なかのとスタンダード」「なかのとルーティン」「なかのとネットマナー」などの徹底はもちろんのことであるが、学校だより・生徒指導だより等での保護者への取組の啓発を図っている。 	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケートでのインターネットの使用マナーが改善されているだけでなく、学習に取り組む姿勢が大幅に改善されてきた。 【今後の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> 中学校では、来年度も更に上のレベルを目指し「なかのと Hight Standard」の強化を図っていきたい。
(9) 中能登らしい学校教育の推進	○区域外通学の弾力的運用 <ul style="list-style-type: none"> 中能登町立学校通学区域規則の一部改正 (H24 施行) 中能登町立小学校への区域外就学児童数（新規） 小学生 2人 中能登中学校への区域外就学生徒数（新規） 中学生 12人 	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の区域外通学について弾力的運用ができ定着してきている。 【今後の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> 今後も、子どもの可能性を伸ばすためにも体制を確保したい。
	○進路相談及び進路学習の充実 <p>中能登中学校</p> <p>① 高校説明会 鹿西高校との出前授業 七鹿羽咋郡の高校</p> <p>② キャリア教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 「中能登しごと館」（5回目）PTCA※10 活動と協働 実施日：11月7日（土）土曜授業 場 所：中能登中学校 受講者：中学生全員 内 容：仕事の職種 20講座を設置 講 師：保護者、地域の方々 	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 高校受検では例年よりも第1志望の高校に進学できる生徒が多かった。 「中能登しごと館」をコロナ禍ではあったが、できる範囲で実施した。生徒からは、「具体的な説明があり、進路を決める上で大変有意義な時間であった。」という感想があった。また、講師の方々からも、生徒は真面目に聴いてくれて大変良かった。来年度も実施するなら呼んでいただきたい。」という声がほとんどであった。 【今後の方向性】 <ul style="list-style-type: none"> 「中能登しごと館」は、来年度も継続して実施したい。コロナ感染症の状況にもよるが、例年通り40人ほどの講師を招聘し、子どもたちに職業観を身に付けさせたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(9) 中能登らしい学校教育の推進	<p>○小学校と中学校及び鹿西高等学校との連携</p> <p>① 小学校と中学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「出前授業」 今年度は、教科等での出前授業を実施しなかったが、小学校からの要望により、中能登中学校の生徒指導主事が3小学校へ出向き、中学校生活の心構えを中心とした講話を実施した。 ・「ピアサポート」※11 中学1年生が小学6年生の抱えている中学校生活の不安に回答するかたちで、ピアサポートを本年度初めて実施した。 <p>② 中学校と鹿西高等学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高校学習会」 鹿西高校からの5教科の出前授業。 鹿西高校生が中学3年の生徒に学習指導。 今年度はコロナ禍のため実施されなかった。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できる範囲で小学校と中学校との連携ができた。 ・生徒指導主事による出前授業やピアサポートは、中1ギャップを解消する上で大変効果的であった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小中高の連携では、教科面や生徒指導面において出前授業は欠かせない取組であると考え。またピアサポートは、メンタル面のサポートに欠かせない取組と捉え、今後はこの2つの取組を両輪に軸として連携を強化していきたい。
	<p>○学術文化など最先端を行く技術や知識を知る学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術巡回公演事業 中国影絵人形劇 鑑賞（鳥屋小 全学年） ・クリスマスコンサート ピアノ演奏（鹿島小） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で学術文化に触れる機会が縮小している中、芸術的な鑑賞ができ、感動できる貴重な学習の機会となった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策等の工夫をしながら、学術文化に触れる機会を確保し、児童生徒が技術や知識が得られるよう継続していく。
	<p>○環境教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校 毎年、「いしかわ学校版環境ISO」に取り組んでいる。 今年度は町との連携でエコキャップの収集にも取り組んだ。 ・鹿島小学校 二宮川等の水質調査 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節電・節水は、校内掲示等で呼び掛け、空き教室の消灯が徹底されてきた。エコキャップも収集箱にあふれるほど集まった。 ・地域の川の水質調査を行うことで地域の環境問題について考えることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の意識改善を図るため、いろいろな機会を捉えて環境教育を推進していきたい。 ・身近な場所の環境問題に関心をもって行動していく児童を育てる。

2 学校施設・設備の整備充実

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
学校整備事業	<p>○事業の概要</p> <p>1. 中能登町立小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 工事名 令和2年度地方創生交付金事業 手洗い自動水栓化工事 ・ 場 所 鳥屋小学校、鹿島小学校 鹿西小学校、中能登中学校 ・ 工 期 令和2年12月22日～令和3年3月25日 ・ 工事費 鳥屋小学校：2,585,000円 鹿島小学校：3,267,000円 鹿西小学校：1,848,000円 中能登中学校：2,299,000円 ・ 内 容 鳥屋小学校：54ヶ所 鹿島小学校：68ヶ所 鹿西小学校：38ヶ所 中能登中学校：38ヶ所 <p>2. 鳥屋小学校</p> <p>(1) 工事名 ガス湯沸取付工事 工 期 6月5日～6月22日 工事費 770,000円 内 容 2階理科準備室 1台 3階家庭室 1台</p> <p>(2) 工事名 家庭室加圧ポンプ取付工事 工 期 7月16日～8月31日 工事費 115,500円 内 容 3階家庭室 1台</p> <p>(3) 工事名 学園プール電動三方弁配管取替工事 工 期 令和2年12月25日～令和3年3月31日 工事費 2,420,000円 内 容 高学年用プール 1台 低学年用プール 1台</p> <p>3. 鹿島小学校</p> <p>(1) 工事名 屋内運動場監視カメラ移設工事 工 期 6月11日～6月30日 工事費 382,800円 内 容 監視カメラ1台を移設</p> <p>(2) 工事名 体育館壁面修繕工事 工 期 6月17日～8月31日 工事費 946,000円 内 容 ひび割れ及び漏水等の修繕</p>	<p>【成果】</p> <p>コロナ禍において、感染症対策等を徹底しながら、児童生徒の学習保障のための環境を整え、学校活動の再開及び継続を支援することができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>引き続き、学校施設等の充実を図り、安心安全な環境づくりに努めたい。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
	<p>4. 鹿西小学校</p> <p>(1) 工事名 圧力式急速ろ過装置修繕 工 期 5月21日～6月10日 工事費 1,067,000円 内 容 プールろ過機の修繕</p> <p>(2) 工事名 体育館排煙オペレーター修繕工事 工 期 6月12日～8月31日 工事費 693,000円 内 容 排煙オペレーターの修繕</p> <p>(3) 工事名 放送設備機器設置工事 工 期 令和3年1月28日～3月25日 工事費 1,848,000円 内 容 放送設備機器の入替工事</p> <p>5. 学校備品の整備</p> <p>(1) 購入備品 令和2年度学校保健特別対策事業 サーモグラフィーカメラ購入 設置場所 鳥屋小学校、鹿島小学校 鹿西小学校、中能登中学校 各1台ずつ 合計4台 購入金額 3,502,400円</p> <p>(2) 購入備品 令和2年度学校保健特別対策事業 製氷機購入 設置場所 中能登中学校 1台 購入金額 368,500円</p> <p>(3) 購入備品 令和2年度学校保健特別対策事業 大型送風機購入 設置場所 鹿島小学校 10台 中能登中学校 5台 購入金額 553,300円</p> <p>(4) 購入備品 令和2年度学校保健特別対策事業 ランチルーム用テーブル購入 設置場所 鹿西小学校 75台 購入金額 988,460円</p> <p>(5) 購入備品 令和2年度地方創生交付金事業 図書消毒機購入 設置場所 鳥屋小学校、鹿島小学校 鹿西小学校、中能登中学校 各1台ずつ 合計4台 購入金額 3,238,400円</p>	

3 学校給食

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価																												
学校給食	<p>○学校給食費の第2子以降無償化</p> <p>①学校給食費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登町に住所を有し、18歳に達する以後の3月31日までの間にある対象児童生徒を2人以上扶養している保護者へ助成する。 <p>②助成実績</p> <table border="1" data-bbox="279 459 933 716"> <thead> <tr> <th></th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>R2</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥屋小学校</td> <td>160人</td> <td>153人</td> <td>157人</td> </tr> <tr> <td>鹿島小学校</td> <td>237人</td> <td>237人</td> <td>224人</td> </tr> <tr> <td>鹿西小学校</td> <td>119人</td> <td>111人</td> <td>107人</td> </tr> <tr> <td>中能登中学校</td> <td>221人</td> <td>193人</td> <td>206人</td> </tr> <tr> <td>町外学校</td> <td>10人</td> <td>14人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>747人</td> <td>708人</td> <td>709人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○学校給食費の公会計化</p> <p>平成30年度から町予算に組み入れ管理・運用を行う「公会計制度」を採用。 学校給食費の徴収管理システムを導入し運営している。</p>		H30	H31	R2	鳥屋小学校	160人	153人	157人	鹿島小学校	237人	237人	224人	鹿西小学校	119人	111人	107人	中能登中学校	221人	193人	206人	町外学校	10人	14人	15人	合計	747人	708人	709人	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年から始まった、第2子以降の児童生徒の給食費無償化により、子育て世代への負担軽減につながった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食費助成制度がわかりやすいものとなるよう、助成制度のあり方を検討していく。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費の公会計化により、教職員の負担軽減が図られた。
	H30	H31	R2																											
鳥屋小学校	160人	153人	157人																											
鹿島小学校	237人	237人	224人																											
鹿西小学校	119人	111人	107人																											
中能登中学校	221人	193人	206人																											
町外学校	10人	14人	15人																											
合計	747人	708人	709人																											

4 文化財

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 文化財保護事業	<p>○伝統的建造物群保存対策事業 伝統的建造物群保存対策調査委員会の開催 (令和3年2月19日)</p>	<p>【成果】 ・重要伝統的建造物保存地区の選定に向けて、調査委員会を開催した。調査報告書を300部刊行した。</p> <p>【今後の方向性】 ・重要伝統的建造物群保存地区の選定に向けて、地区説明会を開催し、同意をとる。また条例等の整備を行っていく。</p>
	<p>○史跡石動山保存整備事業 基礎資料の整理を実施した。</p>	<p>【成果】 ・調査報告書まとめるため基礎資料の整理を実施した。</p> <p>【今後の方向性】 ・報告書作成に向けて基礎資料の整理を引き続き実施する。</p>
	<p>○町内遺跡発掘調査等事業</p> <p>①試掘調査等 宅地造成等の開発行為が増加傾向にあり、試掘調査等を行い埋蔵文化財保護に努めた。 埋蔵文化財の照会 9件 試掘調査 6件</p> <p>②古墳の測量調査 古墳は町の特色を示す文化財のひとつであり、複数年の計画で調査を実施。調査内容は古墳群の踏査及び測量調査を実施する予定。今年度は、古墳群の踏査と町指定史跡水白鍋山古墳の墳丘測量をおこなった。調査にあたっては、調査検討委員会から指導助言を得た。 測量調査 11～3月 調査検討委委員会 3回(8・10・3月) 古墳群の踏査 2～3月</p>	<p>【成果】 ・開発事業との調整が図られるようになり、試掘調査を実施した。古墳の調査では水白鍋山古墳の墳丘測量を実施して、今後の調査の基礎となる図面を作成した。また古墳群を踏査して現況の把握に努めた。</p> <p>【今後の方向性】 ・文化財保護法に基づき、埋蔵文化財保護を適切に実施する。 ・古墳の調査は事業成果を地域に還元することで、文化財保存への理解と活用を促す。</p>
	<p>○旧観坊保存修理事業 旧観坊は山岳信仰の霊場として栄えた石動山に唯一残る僧坊建築(県指定文化財)であり、茅葺屋根の経年劣化によって生じた亀裂や窪みがみられることから差茅による修繕を行った。</p>	<p>【成果】 県指定文化財建造物の保存活用を図ることができた。</p> <p>【今後の方向性】 茅葺建物の日常管理を徹底することで、屋根の適切な維持管理に努める。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価										
(1) 文化財保護事業	<p>○指定・登録文化財の保護</p> <p>①文化財保護審議会の開催 1回</p> <p>②文化財パトロール 1回 伊須流岐比古神社本殿及び拝殿</p> <p>③指定文化財の状況</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">指定・登録文化財</td> <td style="text-align: right;">121件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">内訳 国指定</td> <td style="text-align: right;">5件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">県指定</td> <td style="text-align: right;">6件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">町指定</td> <td style="text-align: right;">105件</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 40px;">国登録</td> <td style="text-align: right;">5件</td> </tr> </table> <p>④指定文化財の維持管理助成 42件</p>	指定・登録文化財	121件	内訳 国指定	5件	県指定	6件	町指定	105件	国登録	5件	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審議会を開催して指導・助言を得た。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定や登録されるべき文化財の調査研究を進め、文化財の保存と活用が適切に図られるよう努める。
指定・登録文化財	121件											
内訳 国指定	5件											
県指定	6件											
町指定	105件											
国登録	5件											
(2) 文化財管理運営事業	<p>○史跡・文化財施設の管理運営状況</p> <p>①石動山歴史の広場（史跡公園）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮坊（復元建物 H14 年度完成） 除草・樹木植栽管理作業 見学者数（12/1～3/20 冬季休場）2,419人 ・旧観坊（県指定文化財） 建物維持のため通風及び薪焚きの実施 ・石動山資料館の管理運営 入館者数（12/1～3/20 冬季休館）736人 ・施設の修繕 大宮坊看板修繕 （本堂跡、書院台所棟跡、証誠殿跡） 大宮坊外灯修繕 石動山資料館非常用電灯修繕 <p>②県営能登歴史公園（石動山地区）管理運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設概要（H18 年度から指定管理） 開設面積：16.3ha 主な施設：遺構広場、芝生広場、便所、駐車場 ・主な管理内容 園地管理 芝生・樹木管理など 施設管理 公園管理事務所、公衆トイレの管理など ・公園利用者数 8,007人 ・自主事業（イベント）の内容と参加人数 石動山ユリ展 7/15～7/26 546人 石動山スタンプラリー 8/1～9/27 106人 石動山秋のつどい 10/18 98人 ・施設の修繕 木柵・ロープ柵修繕 管理事務所非常用電灯修繕 公園水路・修景護岸修繕 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保護を図りながら定期的に園地の芝生管理、樹木管理、公園施設の維持管理を行なった。 ガイダンス施設のトイレ改修工事によって利便性が向上した。利用については、学校教育、社会教育の場として活用することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらに史跡の適切な維持管理と活用に努めるとともに、展示施設の利用者増加を図るため、特別展を実施するほか、地域の外部団体とも協力していく。 										

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) 文化財管理運営事業	<p>③雨の宮古墳公園（史跡公園）・グリーン広場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な管理内容 <ul style="list-style-type: none"> 芝生・樹木管理及び除草作業 雨の宮能登王墓の館の管理運営 入館者数 1,037人 ・施設の修繕 <ul style="list-style-type: none"> 雨の宮能登王墓の館トイレ改修工事 (多目的トイレ) 雨の宮2号墳階段修繕 	
	<p>○講座・企画展の開催</p> <p>①出前講座（郷土学習の支援）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学芸員と行く史跡めぐり 1件 ・学校・団体等の見学 <p>雨の宮古墳群</p> <p>8/21 七尾市立小丸山小学校（6年）</p> <p>9/23 中能登町立鳥屋小学校（3年）</p> <p>11/12 中能登町立鹿島小学校（4年）</p> <p>石動山</p> <p>11/30 中能登町立鹿島小学校（5年）</p> <p>ふるさと創修館 (曳山展示室)</p> <p>11/18 中能登町立鳥屋小学校（2年）</p> <p>11/19 中能登町立鳥屋小学校（4年）</p> <p>11/29 中能登町立鳥屋小学校（4年） (特別展示室) 企画展</p> <p>8/20 中能登町立鳥屋小学校（6年）</p> <p>②企画展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦時下の子どもたち ～学校資料で見る戦時中の学校風景～ 開催期間 8/1～8/30 入館者 1,025人 ・探検！中能登の古墳 開催期間 12/2～12/27、1/6～1/24 入館者 1,166人 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座や企画展を通して文化財に対する理解が深まったと考えている。企画展は郷土資料をとおして町の歴史や文化を紹介する場として、郷土学習や郷土愛を育み、町内外の方々にその役割を普及啓発することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における文化財普及・啓発の新しい在り方を模索しながら、今後とも積極的に事業を実施し、広く文化財に対する理解を深め、愛護の精神やふるさとに愛着を持っていただけるよう引き続き実施していく。

5 生涯学習の振興

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) 社会教育施設の充実	<p>○文化芸術活動を通じた交流、発表の場とする</p> <p>①町文化まつりの実施 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	<p>【成果】 中止のため成果なし</p> <p>【今後の方向性】 ・全体的に高齢化が進み、脱退する団体も増え始めてきていることから、後継者の育成及び新規加入促進策を検討しなければならない。また、各団体の事業内容の見直しも行うように指導していきたい。</p>
	<p>②文化推進事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災 「写真展」 1,019 名 令和3年2月20日(土)～3月14日(日) ラピア鹿島 	<p>【成果】 ・令和2年度は7事業のうち1事業のみ実施した。コロナ禍であるため、3密対策を講じて出来る事業は？と考え、展示のみとした。</p> <p>【今後の方向性】 ・令和3年度は、コロナ禍の状況でも開催できる事業を考え実施していきたい。 ・町民をはじめとする多くの人々が集い、事業を通じ文化活動の活性化を図っていきたい。</p>
	<p>○生涯学習の拠点として施設の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ラピア鹿島文化ホール設備の更新を実施した。 工事名 舞台吊物設備改修工事 工事費 2,695,000 円 内 容 舞台吊物に係るマニラロープ更新等 ・証明書自動発行機の設置 住民票や戸籍証明書の発行が可能。 コピー利用も可。 ・コロナ対策 手洗い自動水栓化 4箇所 	<p>【成果】 ・令和2年度は、舞台機構設備の更新を実施し、講演会や文化芸術発表が順調に行えるよう整えた。 ・令和2年度から町民利用においても一部受益者負担とした。※関係団体については減免扱い。</p> <p>【今後の方向性】 ・設備の機器操作の手順を確認し、ホール運営に支障がないよう努めていきたい。また、今後も適正な維持管理に努め、町民の文化芸術活動の拠点施設としての環境整備に努めたい。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) 生涯学習講座の実践	<p>○住民のニーズを把握し、学習機会の場を提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座の実施 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・女性講座 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 	<p>【成果】 中止のため成果なし</p> <p>【今後の方向性】 ・参加者が多い運動講座のメニューを改善しながら、トレーニング等々の利用促進を促す。壮年層が継続して取り組みできる書道等の講座を新規に設ける。</p>
	<p>○ふるさと学習の充実を図る</p> <p>中能登町の生涯学習の推進を目的とし、町で活躍する文化活動の先生（講師）を活用し、地域及び学校の学習活動の支援を行う。</p> <p>まちの先生（メニュー16項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物作り ・手作り道具、手工芸 ・スポーツレクリエーション ・自然、科学、環境 ・地域に伝わる芸能、歴史 ・日本文化 ・芸術 ・教育、福祉、生き方 ・国際交流 <p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	<p>【成果】 中止のため成果なし</p> <p>【今後の方向性】 ・ふるさと学習の提供の周知・利用促進について、講師と協議を行いながら各イベントでの紹介等につなげていきたい。</p>
	<p>○生涯学習人口の拡大を図る</p> <p>講演、体験・紹介コーナーを行い、町民への生涯学習活動について周知を行うと同時に、お互いが学びあえる学習機会の提供を図る。社会教育委員が主体となり、企画及び運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生涯学習のつどい」の開催 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 	<p>【成果】 中止のため成果なし</p> <p>【今後の方向性】 ・コロナ禍の状況が継続しているため、基調講演等の企画・運営の在り方について協議し、状況を踏まえながら判断を行う。 ・今後も生涯学習に役立つ内容の基調講演、体験・紹介コーナーによる生涯学習の周知に取り組む。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 公民館活動の充実	<p>○各自治公民館の活動を基盤とし、地域の活性化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治公民館活動への助成 (57 地区) <p>【活動内容】 各種レクリエーション大会、防災訓練、環境美化、その他行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域自治公民館振興事業 申請0件 コロナ禍で実績なし ・敬老会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の状況であるため、事業の中止・縮小と計画通り実行できない地区が多くあったが、その中で地域住民が協力し相互の連帯感を醸成、地域の活性化の促進を図ることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域自治公民館振興事業の継続的推進を図るとともに、コロナ禍での状況が継続しているため、可能な範囲で事業を実施していただけるよう、相談・助言等を行い、各自治公民館の自主的活動の更なる充実を図る。 <p>【成果】 中止のため成果なし</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に加え、年々参加者の減少が続いていることから、令和3年度から中能登町地域敬老事業補助金要綱を策定し、各自治会、町内会、自治公民館等に補助金を交付するなど、地域ぐるみで長寿を祝い、地域の中で支え合う安心なまちづくりを促進していく。
	<p>○活動を通じさらなる連携感を養い、地域のリーダー育成を図る</p> <p>①地域文化活性化事業の活用 文化団体の新たな活動に対し、いしかわ県民文化振興基金及び町補助金により経済的支援を行うことにより、文化活動の活性化につなげる。</p> <p>令和2年度対象団体 (3 団体)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 春木獅子舞保存会 春木獅子舞後継者育成事業 2) よこぶえ・ほらがい古知今知 石動山法螺貝 (講習会事業) 3) 鶉様道中の宿保存会 鶉様道中伝承活動事業 <p>新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (県と協議し、次年度へ繰越とした)</p>	<p>【成果】 中止のため成果なし</p> <p>【今後の方向性】 いしかわ県民文化振興基金の活用を促し、新規活動の支援を行う。継続事業については、コロナ禍の状況であるため、感染症予防の観点に沿った事業計画の精査・助言を行う。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(3) 公民館活動の充実</p>	<p>○関係団体との連携を密にし、各種団体の活性化を図る</p> <p>①各種団体への助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登町文化協会 会員相互の学術技芸の習得意欲の向上と、地域社会の文化向上に寄与する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 町補助金 2,750,000 円 返還金額 1,520,000 円 2) 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ◆年2回の文化だより発行 ◆文化まつりの開催（コロナで中止） ◆町事業への参加協賛 ◆県庁ロビーコンサートへの参加 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ・中能登町実年会 町実年層の親睦と融和を図りつつ、その教養を高めより良い町づくりの推進に寄与する。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 町補助金 198,000 円 返還金額 102,000 円 2) 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ◆町内美化活動の実施 ◆「中能登町実年会だより」の発行 ◆グラウンドゴルフ大会 ◆町長と語る会 ◆ボウリング大会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会活動では、コロナ禍により事業の中止もあったが、それぞれの団体が、発表会やボランティア活動等に積極的に参加し、地域文化の向上が図られた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化協会の各種団体への加入状況が減少傾向にあるため、広報誌等を活用し入会案内を行い、加入促進を図っていく。令和3年度についてはコロナ禍でも学術技芸を磨きあげていきたいと考えている。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員数の減少が続く中、また、コロナ禍の状況の中、活動できる範囲で参加者を集め、町実年層の親睦と融和を図ることができた。 ・実年会だよりの発行により町民にどのような活動をしているか周知することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度町実年会は鳥屋地区から3団体、鹿西地区から1団体の計4団体と団体数の変動はないが、コロナ禍の状況のため、1団体が活動を休止しているが、今後も、加入団体が減少しないよう継続するためには何をすべきか。また、実年会として町のために、どのような行動が必要なのか事業内容の見直しも含めた働きかけをしたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) 公民館活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・中能登町青壮年協議会 町内青壮年の親睦、交流を図り、青壮年層の活性化に資することを目的とする。 1) 町補助金額 300,000 円 返還金額 250,000 円 2) 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ◆やじきた祭り 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、コロナ禍のため予定していた事業が出来なかった。 ・やじきた祭りは、おにぎりの日にちなみ、道の駅の協力のもと、オリジナルおにぎり立案、販売した。地域との交流につながった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍であるが、引き続き会員の加入促進に努め、新たな事業を企画・実施し青壮年層の活性化を図るよう働きかける。
	<ul style="list-style-type: none"> ・中能登町子ども会連絡協議会 1) 町補助金 800,000 円 返還金額 477,000 円 2) 事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ◆全国子ども会安全会への加入 ◆各地区感染症対策費の助成 ◆秋・冬各種球技大会（※中止） (グラウンドゴルフ大会、ボウリング大会) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、子ども会の堅実な活動を支援し、子どもの健全育成に資することができた。 ・子ども会という組織への愛着と連帯と子ども同士が相互に納得する規律の精神を涵養することができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主性の尊重や道徳心の尊重、体力の向上など目的をもって活動していけるよう働きかける。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
<p>(3) 公民館活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中能登町女性協議会 1) 町補助金 2,000,000 円 返還額 792,000 円 2) 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> ◆ 定期総会 (中止) ◆ 環境施設視察研修 (中止) ◆ 体力づくりレクリエーション大会 ◆ 会員旅行 (中止) ◆ 町長と語る会 ◆ 議会傍聴 (中止) ◆ 女性のつどい ◆ 女性セミナー ◆ 敬老会お手伝い (中止) ◆ 成人式お手伝い (中止) ◆ リサイクルバザー (中止) ◆ 会報 16 号発刊 ◆ 反射材キャンペーン (中止) ◆ 交通安全出動式 (中止) ◆ 中能登地区県政会議 ◆ 交通安全マスコット配り ◆ 交通安全母親大会・県婦人意見発表大会 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和 2 年度においても支部数が減少している。コロナウイルス感染防止のため事業の大半は中止した。数少ない事業であったが行政と連携した取り組みができた。 ・ 行事等を通して町行政に対する課題や疑問を問いかけすることができ、さらに会員同士の絆を深めることができた。 ・ 支部にて講座を開催した際に、講師謝金の一部を町から助成する制度の活用もある。今後も活用し、支部内での活動もより活発になってほしい。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口、世帯の減少に伴い、協議会に参加する会員の減少が目立ち、解散する地区支部の問題が深刻化してきている。今後、町女性協議会の継続については、個人会員も視野に入れて検討を重ねていく。 ・ 女性の活躍は町活性化において欠かせないため、今後も支援を行っていく。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 青少年の健全育成	<p>○家庭や学校、地域との連携を密にし、犯罪のない地域社会を創る</p> <p>・巡回補導の実施 夏休み期間の巡回補導の実施。 期 日 8月4日、6日、11日、13日、18日、20日、25日 時 間 17:00～18:00 参加者 延べ47名</p> <p>・町駐在所、各学校代表、県警委嘱少年補導員、七尾鹿島地区高等学校 PTA 校外補導連絡協議会、青少年育成推進指導員、町教育委員会の協力のもと実施した。</p>	<p>【成果】</p> <p>・令和2年度は、夜から夕方の巡回時間に変更した。このことにより、子どもたちと会えることができ、子どもたちとコミュニケーションを図ることができた。学校・地域、関係機関との連携を深めながら、巡回補導を実施し子どもたちの健全な育成を図ることができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>・近年、パソコンや携帯電話の普及に伴い、屋内に引きこもることが多い中、子どもたちと少しでも会える時間帯の夕方に巡回し、青少年とコミュニケーションをとり、少しでも非行防止になるよう努めていきたい。</p>
	<p>○青少年の地域での社会参加を促す</p> <p>①青少年育成推進委員の支援</p> <p>・町立学校への協力。 ・町巡回補導への協力。</p> <p>②放課後子ども総合プランの推進 放課後子ども教室の実施</p> <p>・とりや放課後子ども教室 ・とりや児童館放課後子ども教室 ・かしま放課後子ども教室 ・かしま児童館放課後子ども教室 ・ろくせい放課後子ども教室 ・ろくせい児童館放課後子ども教室 全9回実施、延べ222名参加</p> <p>・主な内容 手話教室、レクリエーション教室、作って遊ぼう教室、よさこい教室、おはなし会、ミニうんどう会教室他</p>	<p>【成果】</p> <p>・研修会が中止となったため、相互の意見交換ができなかったが、例年通り関係団体等への協力を行った。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>・今後も研修会やブロック会議に積極的に参加し、相互の意見、情報等の交換などを行い、他市町との連携を強化していきたい。</p> <p>【成果】</p> <p>・遊びや、色々な体験を通し、子どもたちの自主性の尊重、体力の向上、道徳心の尊重など目的をもって取り組むことができた。</p> <p>【今後の方向性】</p> <p>・コロナの影響で開催回数が減り、各教室1・2回程度しか開催ができなかったが、関係機関や各教室と相談しながら新たな活動も視野に入れ運営していきたい。</p> <p>・子どもたちの意向も聞きながら、楽しい教室になるよう努めていきたい。また、子どもたちの興味を引くような企画を考え、安全・安心な活動ができる放課後の居場所づくりに取り組んでいきたい。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 青少年の健全育成	<p>③成人式の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和3年1月10日(日) 10:00～ ・場 所 ラピア鹿島「アイリスホール」 ・参加者 対象者 186人、参加者 130人 ・式 典 <ul style="list-style-type: none"> 1)開式の辞 副町長 2)国家斉唱(音源のみ) 3)町民憲章唱和 新成人代表 4)式辞 町長 5)祝辞 衆議院議員、県議会議員、町議会議長 6)記念品贈呈受領 新成人代表 7)二十歳の誓い 新成人代表 8)謝辞 新成人代表 9)閉式の辞 副町長 ・記念撮影(各地区) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過により無観客とし、最小限の内容での開催となったが、感染予防対策を講じながらも事業を実施出来たことで、参加者への祝い、思い出作りの手助けが出来た。 ・感染予防対策に関する取組 体調チェックシートの提出 受付体制、会場内通路の工夫 座席の間隔を空ける 生配信の構築 親睦会の中止 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度以降の開催は、これまで通り20歳を対象とし開催する。事業の名称、内容については今後検討していく。
(5) 国際交流事業の推進	<p>○次世代を担う児童生徒の国際的視野を身につけるための国際理解を深める</p> <p>①ジャパンテントへの共催並びに実施 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>②21世紀石川少年の翼 ※県主催事業 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p> <p>③ジュニアウイングス in アメリカ 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	<p>【成果】</p> <p>中止のため成果なし</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このような事業を活用し、国際交流及び多文化共生の推進を図っていく。 ・たくさんの生徒に参加してもらえよう、各学校に掲示周知依頼を行う。 ・今後も町内から参加者を募り、国際的視野を身につけ、相互理解を深める様協力をしていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(5) 国際交流事業の推進	<p>○持続可能な日本語教室を実施し、外国人と地域住民の多文化共生を図る。</p> <p>2019年度 文化庁委託事業</p> <p>「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業地域日本語教育スタートアッププログラムを終了し、令和2年度から本格稼働となった。</p> <p>【名称】中能登町日本語教室</p> <p>中能登にほんごひろば「茶の間」</p> <p style="text-align: center;">～しゃべらんかいね～</p> <p>【実施箇所数】</p> <p>1箇所（中能登町生涯学習センター「ラピア鹿島」）</p> <p>【実施時間数】</p> <p>■教室14回 計 42時間</p> <p>■コアミーティング10回 計 30時間</p> <p>【具体的な実施内容】</p> <p>令和元年度から公設民営方式を採用し、中能登町国際交流の会に事業委託し、日本語教室の運営を行っている。年間22回開催を計画し、日本語クラス、多文化共生クラスの2クラスにより開催した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、4月～5月の教室を中止した関係で今年度は14回の開催となった。</p> <p>また、コアメンバーによるコアミーティングを毎月実施し、企画立案や教室運営に係る事項について協議してきた。</p> <p>この教室の開催目的である「外国人住民の生活をサポートする」、「外国人住民と地域の人々が楽しく豊かに暮らす」を常に意識して行っている。教室では、地域での生活に必要なルールを学べるほか、日本や中能登町の歴史や文化を知ってもらえることができる。</p> <p>また、地域住民と日本語で会話ができるようになることから、情報交換や交流が図られ、地域参画と共助が生まれるようになり、多文化共生の町づくりの推進が図られる。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の教室に参加した外国人学習者は、延べ93人となった。また、運営スタッフとしては、サポーターが延べ146人、ボランティアサポーターが延べ21人の参加であった。 ・サポーター向けの特別講座も開催。養成講座を開催したことにより、新規のボランティアを2名獲得できた。 ・町内各企業や商業施設に開催案内チラシを掲示した。また、町広報誌においても毎月号で開催案内を掲載した。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中能登町国際交流の会 多文化共生部会として継続的な活動を行っていきけるよう進める。 ・参加者のほとんどが町内及び近隣の市町にある企業からの技能実習生であり、数年で帰国される方々であるため、在住または永住外国人の参加を増やしていきたい。 ・現在図書館整備工事を実施しており、令和3年12月からは、図書館内に日本語教室が開催できる多目的の広場で実施していく。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 図書館の充実	<p>○町民のニーズに配慮し、必要な図書や資料を収集し、町民の読書意欲を喚起する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書購入予算内で、より多くの図書購入ができるよう3図書館で連携し、重複しないよう購入している。 ・話題性の高い本は3館で購入するなど工夫している。利用者の希望の本が町内図書館で蔵書していない場合は、県内図書館や県外図書館からも借り受けることができるサービスを行っている。また、季節や旬の話題を取り入れてテーマを決め、展示コーナーを設けることにより、読書意欲を喚起している。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の希望に応じ、リクエストがあった図書はなるべく購入したり、県内外図書館から借り受けたりするよう調整を図った。令和2年度における利用者の貸出冊数はコロナ禍のため減少となった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き利用者のニーズを把握し、利用しやすい図書館を目指し、町民の読書意欲の増進に努めていく。 ・令和3年度は、図書館統合となるため、より充実した図書事業を目指していく。
	<p>○図書館講座等を実施し、利用者の増加を図る</p> <p>①図書館ボランティア養成講座（全2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目 令和2年11月20日（金） 「おはなし会に登場する小道具」 ～「たんぽぽ」づくり&実演～ ・2回目 令和2年11月27日（金） 「おはなし会のすすめかた」 ～年齢に応じた はなし方～ <p>②公開読書会（1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏 令和2年8月25日（火）「山桜」 藤沢周平/著 ・秋 （中止） 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講座を開催することで、新規ボランティアの加入につながった。 ・公開読書会 参加者（夏）17名 テキストのテーマに即した図書の展示を行い、本の紹介に努めた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア養成講座を生かし、図書館ボランティアの活動範囲を広めていきたい。 ・読書会会員以外の公開読書会の参加者が少ないことから、一般の利用者が参加しやすいような周知方法を考えていきたい。
	<p>○図書館司書と連携、協力し図書館の活性化を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うちどく推進賞を実施 「うちどくノート」町内小学校全児童に配布し、うちどくノート提出順に学校で表彰を実施 シルバー賞、ゴールド賞は2月に学校で表彰 1) 「うちどく賞」(1冊目達成者) (1～4年生 15冊 5～6年生 8冊) 2) 「シルバー賞」(2冊目達成者) 3) 「ゴールド賞」(3冊目以上達成者) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度受賞者数 うちどく賞 451人、シルバー賞 146人、ゴールド賞 203人 町立図書館の休館、学校の休校により前年度に比べ、受賞者が減少した。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学前の年長児にうちどくの推進をしていきたい。 ・小、中学校と連携をとり読書の習慣化を図っていきたい。 ・家族でのルールを作り、家族と一緒に本についてコミュニケーションをとってもらえるよう引き続き魅力ある事業を実施していきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 図書館の充実	<p>○図書館司書と連携、協力し図書館の活性化を図る</p> <p>①学校図書館担当者との連絡打合せ会の実施</p> <p>1) 実施日 随時 ※電話で協議</p> <p>2) 参加者 学校図書担当教諭、学校図書館司書、町立図書館職員・司書</p> <p>3) 内 容 町図書館の小中学生対象事業について各校の読書指導計画についてボランティアによる朝読書についてうちどくノートについて</p> <p>②ブックスタート事業</p> <p>乳幼児から絵本に慣れ親しんでもらうため、町内に生まれたすべての赤ちゃんを対象に絵本を手渡し、ボランティアと職員が読み聞かせ等を行うブックスタート事業を実施</p> <p>1) 対象児 7カ月の乳児</p> <p>2) 実施日 保健センターでの7カ月児健診時</p> <p>3) 内 容 2冊の絵本を贈呈 (20種類の本から2冊を選ぶ)</p> <p>4) 実 績 47組 (94冊贈呈)</p> <p>③学校読み聞かせボランティアの実施 新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館にない図書、授業で使用する図書を町立図書館や町外図書館から借りて補うことができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館司書の充実を図り、学校図書担当教諭との連携を強化し、児童生徒の学校図書館、町立図書館の利用推進を図る。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響により、保健センターでの検診が中止になったため、ラピア鹿島で本をプレゼントしたが来館者が少なかった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しい図書館の開館後は、ボランティア活動として図書館でブックスタートを開催し、図書館の来館を促していく。 ・幼児期から図書と慣れ親しむことが大切であることから今後も引き続き事業を実施し、本の楽しさを知ってもらおう。 <p>【成果】</p> <p>中止のため成果なし</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み聞かせは、心のケアにもつながる利点があるため、新規ボランティアを募り、事業を継続する。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(6) 図書館の充実	<p>④図書館講座や行事を実施 (一般向け)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学散歩 (中止) ・文学講座 ・図書館まつり (中止) ・図書館講座 ・絵本の中の料理教室 (中止) ・子ども映画上映会 (中止) ・クリスマスおはなし会 (中止) ・ぬいぐるみおとまり会 (中止) ・ちいさなおはなし会 <p>⑤おはなし会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会ボランティアによるおはなし会を各図書館にて定期的に実施 <p>「鳥屋図書館」ピノキオ (第2土曜日) 7回 57人</p> <p>「鹿島図書館」English STORYTIME ～英語で絵本を楽しく読もう!～ (第4土曜日) 9回 55人</p> <p>「鹿西図書館」 ボランティアーズ (第1土曜日) 9回 148人 ちいさなおはなし会 (毎週木曜日) 37回 487人</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中止した講座や行事がたくさんあり、コロナ感染予防を徹底し行うことで、図書への関心が高められた。また、図書館利用の向上にもつながった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書との関わりを広く持つてもらえるよう、今後もさまざまな講座や行事を推進していく。 ・参加者が増加するよう広報やPRに努める。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会を行うことで児童の絵本への関心、地域の方が実施することで、地域とのふれあいの場に繋がった。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語のおはなし会も取り入れるなど、今後も、おはなし会を継続実施し、児童に図書への関心を深めてもらいたい。
	<p>○図書館を集約し、町民に親しまれる図書館整備を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の利便性を高める。 重複しないよう図書を購入しているが、どこの図書館でもその図書を借りることができるよう予約を受け付けている。また、町内の図書館で借りたものは、借りた図書館でなくても返却できるようにしている。 ・統合図書館と2つの図書室 統合図書館の整備後は、ラピア鹿島内に規模拡大となる図書館ができ、各種サービスを提供するとともに、図書の充実を図る。また、鳥屋図書館と鹿西図書館については、それぞれの社会教育施設内の図書室となるが、従来からの貸し出しや予約などのサービスは継続する予定。 ・コロナ対策 図書消毒機の設置 (3館) 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書の予約受付をすることで、利用者が足を運びやすい図書館で貸出しをすることができ、利用者の負担軽減となっている。 ・平日は毎日図書を運搬することで利用者に早く予約本を貸出できるよう努めている。 ・図書の貸出しだけでなく、各図書館で事業を展開することで利用者 (子どもからお年寄りまで) の増加が見込まれる。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1館集約する体制となるが、ソフト面での充実を図り、利用者が満足できる内容としたい。また、新たな事業やサービスを増やしていきたい。

6 生涯スポーツの振興

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(1) ジュニアスポーツクラブの充実	<p>○ジュニアスポーツクラブの活動を支援し、子どもたちの心身を育てる</p> <p>20 教室を実施し、各教室年間 80 日から 250 日にかけての活動を行った。各教室には育成費や大会派遣費を補助し、その活動を支援している。</p> <p>1) 鹿西剣道教室 2) 鹿島少年剣道教室 3) 中能登柔道教室 4) 少林寺拳法 5) とりやアスリートクラブ 6) 中能登ジュニア体操クラブ 7) 中能登 F C (サッカー) 8) 中能登ジュニアトランポリンクラブ 9) 中能登フェニックス (ミニバス男子) 10) 中能登ミニバスケットボールクラブ (女子) 11) 中能登クラブ (学童野球) 12) 中能登卓球スポーツ少年団 13) とりやソフトテニスクラブ 14) バドミントんクラブかしま 15) バレーボール女子 16) 極真 中能登カラテ 17) なかのと織姫ソフトボールクラブ 18) ジュニア空手道教室 19) 武道教室 山口道場 20) 鹿島 A C</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での活動は難しかったが、各教室で対策を行いながら、活動を行った。 ・少子化の中、新規に 1 団体をジュニアスポーツクラブとして迎え入れた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総児童数に対する加入率は 42.3% となり、昨年度より約 5.1% 減少している。今後も加入促進に努める。
	<p>○ジュニアスポーツクラブ指導者育成派遣を行い、指導者の資質向上を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者としての資質向上のため、資格取得や各種講習会への参加について派遣補助を行う。 ・スポーツ振興フォーラム 2021 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和 2 年度はスポーツ振興フォーラム 2021 を 3 月に開催予定としていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止。しかし、通年で指導育成にあたる指導者に対し、スポーツ関連情報を提供した。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人でも多くの指導者養成のため、講習会等への受講を幅広く呼び掛けていく。 ・指導方法のあり方が騒がれている今日であるが、少しでも資質向上に繋がる事業を進めていきたい。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(2) スポーツの振興	<p>○スポーツ推進員や体育協会と連携を図り、地域スポーツの推進を図る</p> <p>①体育協会は 23 競技団体を指導及び各種の補助をし、ジュニアから一般世代までの競技力向上を目指している。特に町民大会の開催については、大会開催費を補助し、大会運営に大きく寄与している。また、県民体育大会では各競技団体及び出場種目選手に手厚い補助をし、競技力向上及び町の知名度アップに尽力している。</p> <p>②スポーツ推進委員会は 15 名で組織され、各小学校の PTCA*6 活動やスポーツ活動、町スポレク祭（カローリング体験会）の企画運営、北陸地区、県、中能登地区の研修会に参加し、その技量のアップに尽力し、町及び地域のスポーツの推進に尽力している。</p> <p>また、町委員会での研修会も企画し、スポーツ推進委員としての資質向上に努めている。</p> <p>関連事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止</p>	<p>【成果】 全国大会やスポーツ事業がほぼ中止となったため、成果なし。</p> <p>【今後の方向性】 ・体育協会においては、一層の競技力向上を目指し、チャンピオンスポーツとして更なる好成績を目指すべく、選手育成に尽力する。</p>
	<p>○ニュースポーツ等の普及促進に努め、町民の体力づくりの推進を図る</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により町民大会や事業を中止</p>	<p>【成果】 中止のため成果なし</p> <p>【今後の方向性】 ・コロナ禍でも実施できるよう対策を講じていく。 ・スポーツ推進委員会には、今後も多くの方にカローリングを紹介していくよう指導する。</p>
	<p>○各種大会を支援し、競技スポーツの活性化を図る</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、県民体育大会が中止</p>	<p>【成果】 中止のため成果なし</p> <p>【今後の方向性】 ・更なる参加競技拡大のため、かつて出場できた競技の選手発掘に努め、各競技団体に呼び掛ける。</p>

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(3) スポーツ施設の整備・充実	<p>○地域スポーツ環境整備の充実を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内施設 設備の更新や改修、修繕を予算内で実施 ・屋外施設 芝・樹木管理を実施 ・コロナ対策 トイレの洋式化 1 1箇所 手洗い自動水栓化 3 2箇所 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に合わせ、スポーツ施設の設備関係更新等を行ったことで体育施設の充実を図ることができた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の統廃合を考慮した上で、設備等更新の優先順位を実施していく。 ・利用者が安全かつ安心して利用できるように保守管理と速やかな修繕をすることが課題である。 ・町民がスポーツやレクリエーションに親しめる環境づくりを推進し、スポーツ施設の効率的な管理運営と整備を図る。
	<p>○生涯スポーツ・競技スポーツ・学校体育との連携を促進する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな年代で楽しめる“ゆるスポーツ”を普及するための場として、スポーツ施設を活用 ・学校施設の開放を活用し、各スポーツ活動を推進 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害攻略課と連携し、スポーツに絡んだ手軽に楽しめる競技スポーツを実施した。 ・教育文化課、各学校と連携し、学校開放を大いに活用した。 <p>【今後の方向性】</p> <p>誰もが楽しめるスポーツ活動を展開し、盛り上げていきたい。</p>
	<p>○施設の統廃合を含む効率的な管理運営を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧鹿西中学校グラウンドの廃止 (新分庁舎敷地のため) ・廃校となった学校施設の体育館及びグラウンドを体育施設とした。 旧鳥屋中体育館を鳥屋体育館 旧鳥屋中グラウンドを鳥屋グラウンド 旧鹿西中学校体育館を鹿西体育館 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理が軽減できた。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設年数が増すにつれ修繕に係る費用が増大している。安全に利用できるように計画的な修繕が必要である。 ・将来を見据えた公共施設活用指針の策定を行い、施設利用の位置づけ、多機能複合化でサービスの向上を目指し、施設の適正な維持管理を行う。 ・施設の利用者に維持管理費の一部負担を義務付ける料金改定を実施し、適正な施設運営管理を行う。 ・利用者が安全、安心して利用できるように保守管理と速やかな修繕に対応し、管理施設の縮減が利用者の減少にも繋がるため、町民がスポーツやレクリエーションに親しめる環境づくりを推進し、スポーツ施設の効率的な管理運営と整備を図る。

項目	事業の名称及び実施概要	点検及び評価
(4) 指導者の養成と選手の育成	<p>○体育協会と連携し、指導者の指導力向上及び選手の育成に努める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者の資質向上、選手の育成 ・体育協会理事会において、指導者育成の強化について指導。 	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度においても、全競技団体の指導者育成に努めるよう指導した。また、行政としては指導者研修を開催し、育成強化に向けた支援を実施した。 <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全競技において若い世代の指導者の養成が必要であり、今後も継続して指導力向上に向けた取り組みや育成強化に努めていくよう指導していく。
	<p>○全国大会等に出場する選手の支援を行う</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により全国大会中止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアスポーツ全国大会出場派遣補助 (公共交通利用のみ適用) H30年9月より 交通費：全額補助 宿泊費：半額補助(上限1万円) 参加料：半額補助 	<p>【成果】</p> <p>中止のため成果なし</p> <p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国大会等出場には交通費、宿泊費、栄養費など多額の費用が必要なため、町からの補助金は引き続き継続する。

※注釈

- ※1 **OJT=On the Job Training**
職場での実践を通じて業務知識を身につける育成手法のこと。
- ※2 **ALT=Assistant Language Teacher**
(アシスタント・ランゲージ・ティーチャーの略称)
英語教科において日本人の教員を補佐し、生きた英語を児童生徒学生に伝える英語を母国語とする外国人の教員を指す。
- ※3 **GTEC junior**
小学校・中学校の英語の授業で学んだ内容を通して、4技能の英語力がどれくらい身についているかをタブレットを用いて楽しく測れるテストです。
- ※4 **ICT=Information and Communication Technology**
(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略称)
日本では既に一般的となったIT(情報技術)の概念をさらに一歩進め、ITに通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉。国際的にはICTという呼称の方が一般的。
- ※5 **GTEC=Global Test of English Communication**
(グローバル・テスト・オブ・イングリッシュ・コミュニケーションの略称)
ベネッセコーポレーションが主催している、グローバル人材に必要な英語力を測定する検定試験。「聞く」「読む」「話す」「書く」の英語習得における4技能を測るテストです。
- ※6 **国重要無形民俗文化財「鶴様道中」**＝毎年12月に羽咋市の気多大社で営まれる「気多の鶴祭」
国の重要無形民俗文化財に指定されており、平安時代の頃から続いている。神の化身である「鶴様」を七尾市から気多大社に運ぶ鶴様道中は、鶴捕部が鶴籠を背負って、中能登町の旧道を通って羽咋市に向かいます。また、中能登町には、古くから鶴様道中の宿泊所となっている良川地頭の鶴家(ういえ)宅があります。
- ※7 **QUアンケート=Questionnaire Utilities**
学級診断尺度調査
- ※8 **SSW=School Social Worker**(スクール・ソーシャル・ワーカーの略称)
非行、登校拒否などの問題に直面する児童生徒たちを学校と家庭とのパイプ役となって支援する専門家。
- ※9 **Jアラート**
ミサイル発射や津波、地震などの緊急情報を日本政府が発すると、人工衛星や地上回線を通じて全国の市町村の防災行政無線を自動的に起動し、屋外スピーカーや屋内受信機、メールで知らせるシステム。
- ※10 **PTCA=Parent(親)Teacher(先生)Community(地域)Association(会)の略称**
PTAに地域住民が加わった「親と教師と地域住民の会」。地域住民が、学校教育に外側からの支援をするだけでなく、地域の子どもたちは地域で育てるという「共育」の気持ちを大切にします。学校・家庭・地域社会の三者が、子どもの教育について緊密に連携した組織がPTCAです。
- ※11 **ピアサポート**
同じような立場の人によるサポート

II 教育委員の主な活動

(自粛) 会議や行事等は実施されたが、新型コロナウイルス感染症対策のため教育委員活動を自粛
 (中止) 新型コロナウイルス感染症対策のため会議や行事等が中止

時期	各種会議・関係行事等	開催場所
令和2年 4月	異動教職員辞令伝達式 小中学校入学式 (自粛) 鹿西高等学校入学式 石川縣市町教委連第1回理事会 (中止) 石川縣市町教育長会議	ラピア鹿島 小学校3校, 中学校1校 鹿西高等学校 金沢市庁舎 KKR ホテル金沢
5月	(中止) 石川県教育委員会連合会定期総会 (中止) 第1回教育委員代表者会議 (中止) 町PTA連合会定期総会 (中止) 七鹿中学校陸上競技大会 (中止) 全国町村教育長会総会・研究大会	金沢市教育プラザ富樫 同上 ラピア鹿島 七尾市城山陸上競技場 東京都
6月	(中止) 石川県町教育長研修会 (中止) 町立小学校音楽会	中能登町 ラピア鹿島
7月	石川縣市町教委連第2回理事会 (中止) 県中学校体育大会応援 (中止) 小学校水泳交歓会	金沢市庁舎 県内各会場 鳥屋学園プール
8月	(中止) 町戦没者慰霊式 (中止) 石川県民体育大会応援 町PTA連合会と教育委員会との懇談会	ラピア鹿島 各会場 中能登中学校
9月	(中止) 町立小学校器械運動交歓会	鳥屋小学校
10月	東海北陸六縣市町村教育長研究協議会 縣市町教育委員会セミナー (中止) 町PTA連合会研究大会 石川縣市町教育委員会連合会研究大会 (自粛) 町立小学校運動会 (自粛) 中能登中学校学校祭 小中学校計画訪問A	KKR ホテル金沢 KKR ホテル金沢 ラピア鹿島 中能登町(ラピア鹿島) 小学校3校 中能登中学校 各小中学校
11月	(中止) 紀宝町教育委員会交流 石川縣市町教委連第3回理事会 石川縣市町教育長会教育長研修会 教育委員視察研修 (自粛) 中能登しごと館	中能登中学校 KKR ホテル金沢 KKR ホテル金沢 かほく市、加賀市 中能登中学校
令和3年 1月	中能登町成人式 小中学校計画訪問C	ラピア鹿島 各小中学校
2月	中能登中学校立志式 (中止) 生涯学習のつどい 石川縣市町教委連臨時理事会	ラピア鹿島 ラピア鹿島 金沢市庁舎
3月	町立中能登中学校卒業証書授与式 町立小学校卒業証書授与式	中能登中学校 小学校3校

時期	各種会議・関係行事等	開催場所
通年	中能登町議会定例会議 随時会議及び各常任委員会 その他関係方面からの会議 行事出席依頼による参加	中能登町議会議場及び会議室

Ⅲ 令和2年度決算（教育委員会）の概要

1 目的別内訳

（単位：千円）

区 分	令和2年度		令和元年度		前年度比 増減額 ③ (①-②)	伸び率 ③/②×100
	決算額 ①	構成比	決算額 ②	構成比		
教 育 総 務 費	434,187	37.09	255,032	26.22	179,155	70.25
小 学 校 費	121,379	10.37	75,560	7.77	45,819	60.64
中 学 校 費	45,661	3.90	51,534	5.30	▲ 5,873	▲ 11.40
社 会 教 育 費	293,600	25.08	295,051	30.34	▲ 1,451	▲ 0.49
保 健 体 育 費	275,918	23.57	295,397	30.37	▲ 19,479	▲ 6.59
うち体育施設費等	78,706	6.72	94,891	9.76	▲ 16,185	▲ 17.06
うち学校給食費	197,212	16.85	200,506	20.62	▲ 3,294	▲ 1.64
計	1,170,745	100.00	972,574	100.00	198,171	20.38